

準備学習ポイント一覧

科目名	医療安全管理	教員名	齋藤 江利子	学科/区分	看護 必須	履修年次	4
授業計画	回	授業項目	準備学習キーワード 使用教科書掲載箇所(ページ等)				
	1	医療安全と看護の理念	キーワード:医療安全 To Err is Human 医療事故 医療過誤 医療紛争 アクシデント インシデント ヒヤリ・ハット 過失 注意義務 倫理綱領 医療法 保健師助産師看護師法 教科書:第1章「医療安全と看護の理念」 12～31ページ				
	2	医療安全への取り組み	キーワード:医療法施行規則 医療安全管理体制 医療安全支援センター 医療事故調査制度 日本看護協会 法的責任 患者影響レベル指標 医療安全管理者 教科書:第2章「医療安全への取り組みと医療の質の評価」 34～59ページ				
	3	医療事故への対応	キーワード:医療事故情報収集等事業 医療安全情報 医療の質の評価 病院機能評価事業 看護必要度 臨床指標(クリニカルインディケーター) 教科書:第2章「医療安全への取り組みと医療の質の評価」 59～62ページ、67～72ページ				
	4	医療事故の被害者家族の思い	キーワード:被害者(患者)・家族(遺族) 医療対話推進者 原因究明 再発防止 教科書:第2章「医療安全への取り組みと医療の質の評価」 63～67ページ PowerPoint:授業において事例提示				
	5	事故発生のメカニズム	キーワード:ヒューマンエラー 心理的空間 物理的空間 人間特性 期待聴取 社会的な手抜き 権威勾配 リスキーシフト現象 ヒューマンファクター工学のモデル エラー誘発環境 教科書:第3章「事故発生のメカニズムとリスクマネジメント」 74～87ページ				
	6	事故分析とリスクマネジメント	キーワード:時系列事象関連図 スイスチーズモデル 背後要因関連図 RCA エラープルーフ 戦略的エラー対策4STEP/M 戦術的エラー対策発想手順 ハイブリッドの法則 教科書:第3章「事故発生のメカニズムとリスクマネジメント」 87～110ページ				
	7	チームで取り組む医療安全	キーワード:チーム医療 チームSTEPPS コミュニケーション リーダーシップ 状況モニター 相互支援 SBAR 教科書:第4章「チームで取り組む安全文化の醸成」 112～124ページ				
	8	事故と安全対策①	キーワード:看護の現場に潜む危険性 不可逆性 不確実性 プロセス型の事故 非プロセス型の事故 誤薬 危険薬 後発医薬品 エラー要因の分類 六つのRight 輸血 教科書:第5章「看護業務に関連する事故と安全対策」 126～141ページ				
	9	事故と安全対策②	キーワード:患者取り違え(誤認) ネームバンド タイムアウト 針刺し EPINet(エピネット) リキャップ 安全装置付き機器 教科書:第5章「看護業務に関連する事故と安全対策」 142～145ページ				
	10	事故と安全対策③	キーワード:転倒 転落 抑制 転倒転落事故の危険要因 転倒転落事故防止対策 転倒転落アセスメントシート 誤嚥 誤嚥性肺炎 異物遺残 ガーゼカウント 教科書:第5章「看護業務に関連する事故と安全対策」 145～157ページ				
	11	事故と安全対策④	キーワード:皮膚障害 物理的障害 スキンテア 血管外漏出 輸液ポンプ シリンジポンプ フリーフロー サイフォン現象 プライミング ボーラス注入 教科書:第5章「看護業務に関連する事故と安全対策」 158～166ページ				
	12	事故と安全対策⑤	キーワード:血管穿刺時の神経障害 チューブ類のトラブル 気管チューブ 中心静脈カテーテル 末梢静脈ライン 経鼻栄養チューブ 電子カルテ 教科書:第5章「看護業務に関連する事故と安全対策」 166～175ページ				
	13	在宅における医療事故	キーワード:在宅看護 訪問看護 地域包括ケアシステム 医療事故 皮下埋め込み型ポット 介護事故 多職種協働 高齢者施設 介護施設 身体拘束 虐待 教科書:第6章「在宅看護における医療事故と安全対策」 178～197ページ				
	14	医療従事者の安全とリスク	キーワード:CDC 標準予防策 職業感染 空気感染 飛沫感染 エアロゾル感染 血液・体液による感染 個人防護具 感染経路別予防策 被曝 スプラッシュ現象 ハラスメント 教科書:第7章「医療従事者の安全を脅かすリスクと対策」 200～224ページ				
15	看護学生の実習と安全	キーワード:実習における事故 法的責任 注意義務 不法行為責任 債務不履行責任 損害賠償責任 使用者責任 指導監督義務違反 事前準備 KYT 報告・連絡・相談 教科書:第8章「看護学生の実習と安全」 226～255ページ					
教員からのメッセージ	医療安全に関する知識・技術を学び、主体的に安全を守る術を習得しましょう。						